

自己資本の構成に関する開示事項

【連結】

項目	平成29年9月末		(単位:百万円、%)	
	経過措置による 不算入額	平成28年9月末	経過措置による 不算入額	
コア資本に係る基礎項目				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	92,065		82,273	
うち、資本金及び資本剰余金の額	44,625		44,625	
うち、利益剰余金の額	47,439		37,647	
うち、自己株式の額(△)	—		—	
うち、社外流出予定期(△)	—		—	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	—		—	
うち、為替換算調整勘定	—		—	
うち、退職給付に係るもの	—		—	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—		—	
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	31		24	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	31		24	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
適格旧非累積の永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	18,200		20,800	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額	(イ)	110,297	103,098	
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものと除く。)の額の合計額	4,256	2,837	2,895	4,343
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	4,256	2,837	2,895	4,343
縁延税金資産(一時差異に係るものと除く。)の額	390	260	184	277
適格引当金不足額	5,636	—	4,761	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	—
退職給付に係る資産の額	—	—	—	—
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、縁延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、縁延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額	(口)	10,284	7,841	
自己資本				
自己資本の額 ((イ)-(口))	(ハ)	100,013	95,256	
リスク・アセット等				
信用リスク・アセットの額の合計額	451,568		434,021	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	3,098		4,621	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものと除く。)	2,837		4,343	
うち、縁延税金資産	260		277	
うち、退職給付に係る資産	—		—	
うち、他の金融機関等向けエクスボージャー	—		—	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
マーケット・リスク相当額の合計額をハーバーセントで除して得た額	—	—	—	—
オペレーションナル・リスク相当額の合計額をハーバーセントで除して得た額	64,979		58,464	
信用リスク・アセット調整額	374,421		435,068	
オペレーションナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額	(二)	890,970	927,554	
連結自己資本比率				
連結自己資本比率((ハ)/(二))		11.22%	10.26%	

【単体】

項目	平成29年9月末 経過措置による 不算入額	(単位:百万円、%)	
		平成28年9月末 経過措置による 不算入額	
コア資本に係る基礎項目			
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	91,911	82,668	
うち、資本金及び資本剰余金の額	44,625	44,625	
うち、利益剰余金の額	47,285	38,042	
うち、自己株式の額(△)	—	—	
うち、社外流出予定額(△)	—	—	
うち、上記以外に該当するものの額	—	—	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	18	15	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	18	15	
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	18,200	20,800	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 110,130	103,483	
コア資本に係る調整項目			
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	4,256	2,837	2,895 4,343
うち、のれんに係るものの額	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	4,256	2,837	2,895 4,343
縁延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	—	—	—
適格引当金不足額	5,979	—	4,872
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—
前払年金費用の額	—	—	—
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—
うち、縁延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—
うち、縁延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額	(口) 10,236	7,768	
自己資本			
自己資本の額 ((イ)ー(口))	(ハ) 99,893	95,715	
リスク・アセット等			
信用リスク・アセットの額の合計額	465,101	446,987	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	2,837	4,343	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの除外。)	2,837	4,343	
うち、縁延税金資産	—	—	
うち、前払年金費用	—	—	
うち、他の金融機関等向けエクスポートジャー	—	—	
うち、上記以外に該当するものの額	—	—	
マーケット・リスク相当額の合計額をハーパーセントで除して得た額	—	—	
オペレーションナル・リスク相当額の合計額をハーパーセントで除して得た額	63,934	57,953	
信用リスク・アセット調整額	359,647	421,178	
オペレーションナル・リスク相当額調整額	—	—	
リスク・アセット等の額の合計額	(二) 888,683	926,119	
自己資本比率			
自己資本比率((ハ)/(二))	11.24%	10.33%	